

真宗本廟奉仕施設（同朋会館・研修道場・和敬堂） における感染症予防ガイドライン（抜粋）

2020年6月 東本願寺 同朋会館（真宗大谷派宗務所 研修部）

本ガイドラインは、政府から発出された「新しい生活様式」に順応すべく策定された、業種別の感染症対応ガイドライン（※）に基づき、当施設に入館される方々が安心して共同生活を営めるよう策定したものです。本ガイドラインを参加される方々へ事前にご周知ください。

具体的には、お越しになられる方々の、入館から退館までの日程や動線等を考慮し、接触及び飛沫感染のリスクを低減させるための感染予防策について示しています。

入館される皆さま方には、お手数やご不便をおかけいたしますが、感染防止のため、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本ガイドラインは、今後の国内・京都府内の感染状況に応じて、行政機関等から発出される要請や知見等を踏まえ、内容の見直しを適宜行います。

（※）当施設に関連する業種別ガイドライン … ホテル・旅館、公民館、飲食、浴場

1 感染予防設備

- ① 全室にアルコール消毒液、除菌用スプレー等を設置します。
- ② 施設の空調は、外気を流入しています（あわせて定期的な換気も行います）。
- ③ 対面を極力避けるため、出入口や廊下等については、進行方向を図示します。
- ④ 同朋会館各階の交流スペースに手袋を、和敬堂事務所に非接触型体温計を常備しています。
- ⑤ ロビーのカウンターテーブルに、透明のビニールカーテンを設置します（和敬堂及び研修道場）。
- ⑥ 各室及び共用箇所に、うがい・手洗いの励行や、トイレや物品の使用方法等、感染予防のためのメッセージを掲出させていただきます。
- ⑦ カフェでは、容器の回し飲みを止めるため、参加者の携行品にコップを加えさせていただきます。お忘れになられた方には紙コップを使用させていただきます。

2 日程運営に関する感染予防

当施設における生活様式の特徴は、座を囲んでの語り合い、一堂に会しての食事、相部屋での就寝等、伝統されてきた共同生活です。

そのような生活様式の中にあっても、三密や対面を極力避けた日程運営を心がけます。

参加される皆さまにおかれましても、三密や対面を極力避けてお過ごしいただくとともに、うがいや手洗いの励行をお願いします。

3 冥加金の清算

これまでどおり、入館後の現金納入も可能ですが、接触を軽減するため、振り込みでの後日納入にご協力ください（退館されるまでに請求書をお渡しいたします）。

※ クレジットカードでの決済はできません。

4 食 事

食堂の運営は、業者に委託をしており、政府から発出された業種別のガイドライン等に則り、徹底した衛生管理を施して運営しています。

- ① 食事の準備と片付けに際しては、手袋を着用していただきます。
- ② 食堂への入場時、手洗いと手指の消毒をお願いします。
- ③ 対面を極力避けた配置とし、間隔を空けて着席していただきます。
- ④ 食事開始までマスクを着用いただき、食事中の会話は極力お控えください。
- ⑤ 御飯やお茶の追加（おかわり）等については、厨房のカウンターで対応します。
- ⑥ 食堂の混雑が予想される際は、団体ごとに時間をずらして食事をしていただく場合があります。
- ⑦ 発熱、咳、風邪の症状などで体調が優れない方の入場をお断りすることがあります（静養時は保養室に食事をお届けします）。

5 夜の日程（交代での入浴）

団体や居室ごとに入浴時間を定め、交代で入浴いただくため、当面の間、夜の日程を取り止めます。

また、浴場及び脱衣所の清掃は、業者に委託をしており、政府から発出された業種別のガイドラインに則り、徹底した衛生管理を施して運営します。

6 感染者が発生した場合

- (1) 濃厚接触者に該当する方の名簿を、要請によって保健所等の公的機関に提供することがあります。

《 濃厚接触者の定義 》 国立感染症研究所

発病した2日前以降に、感染者と1メートル以内かつ15分以上の接触をされた方。

- (2) 濃厚接触者に該当する方は、保健所等の指示により、室内で待機をいただくことがあります。
- (3) 感染者が使用した諸室の再使用にあたっては、「感染者の最後の使用から3日間より長く経過した部屋であれば、理論的には通常の清掃と換気をよくする程度で良いと思われる」との国立感染症研究所による知見に基づき、適切な日数を空け、消毒清掃を施した後に使用を再開します。

以 上

※本紙は、ガイドラインの抜粋です。ガイドライン全体は、別紙をご確認ください。